

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (864), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

Main project overview table (1. 事業の概要(PLAN)) containing sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with financial data.

2. 事業の評価(DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定, (5) 効率性.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a checkbox row for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (865), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価, 改善検討. Includes sub-sections for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns: 現状, 改善策及び展開方向. Includes a comment field for the project.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (866), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (□政策 □経常 ■なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria and a detailed table for (9) 財源内訳 and (10) 人件費等.

3. 事後評価 - Post-evaluation section including a status summary and a table for (1) 目標設定は適切か? and (2) 事業費削減の工夫をして

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	867	課コード	0705	会計種別	一般会計	予算の種類	<input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	--

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	都市計画法施行規則第60条に基づく建築証明事務		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	都市部・市街地整備課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成14年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.35人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,080千円 (うち人件費 3,080千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。			事業目的	確認済証の交付を受けようとする者に対して、建築基準法に基づく確認申請の際に必要な都市計画法第29条第1項若しくは第2項、第35条の2第1項等の規定に適合していることを証する書面を交付する。								
(3) 事業内容	内容	建築基準法第6条第1項又は第6条の2第1項に基づき、確認済証の交付を受けようとする者が当該申請書に添付するものとして、都市計画法第29条第1項若しくは第2項、第35条の2第1項、41条第2項、42条、43条第1項の規定に適合していることを証する書面が必要となる場合があることから、都市計画法施行規則第60条により、法第29条第1項等に適合する旨の証明書を確認済証の交付を受けようとする者に交付する。			当該年度執行計画	年間を通して、証明書の交付申請を受理したときは、適正な期間内で速やかに審査を行い、内容が適合しているものについて証明書を交付する。								
		当該年度活動結果指標	証明書の交付件数	単位	件	想定値	8		実績値	4				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	都市計画法施行規則第60条の規定に基づき、適正な期間で交付する。				直接	証明率(証明件数/申請件数)		%	100	100				
令和2年度	都市計画法施行規則第60条の規定に基づき、適正な期間で交付する。				直接	証明率(証明件数/申請件数)		%		100				
令和3年度	都市計画法施行規則第60条の規定に基づき、適正な期間で交付する。				直接	証明率(証明件数/申請件数)		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			建築証明に係る事務		建築証明に係る事務	0			建築証明に係る事務	0	建築証明に係る事務	0		
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0		
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35				
	正職員人件費	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		3,080		3,080		3,080		3,080		3,080				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		385千円/件		385千円/件		770								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
	法に基づく事務処理市として、建築確認済証の交付を受けようとする者に対して、都市計画法第29条第1項等の規定に適合していることを証する書面を交付する必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 都市計画法第3章第1節による。				○要 ●不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 都市計画法第3章第1節による。		○要 ●不要
	○②自治体である市が推進すべきである(理由) □市が主導で進めることにより実効性が得られる □市が実施・提供することにより、良質で安定したサービスが保証される □市が支援することにより政策・施策の目標の実現が図られる □その他		<その他の内容>		<その他の内容>		<その他の内容>		
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他						○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他						●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 適切に事務を行ったため。		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現行体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	3.25	単位 費用単位 %	●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価										
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					
	本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。									

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (868), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre/post evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status and improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (869), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, citizen participation, and environmental impact.

3. 事後評価 - Post-evaluation section for the project's progress and impact.

Final summary table with columns for evaluation comments and improvement directions.

事務事業評価表（平成31年度）

事業コード	870	課コード	0705	会計種別	一般会計	予算の種類	□政策 □経常 ■なし
-------	-----	------	------	------	------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)														
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 個別事業	都市計画法第43条に基づく建築許可事務		実施計画への位置づけ	○有 ●無		②部課名	都市部・市街地整備課					
	③事業主体	●市 ○その他 ( )			④対象地区	□我孫子 □天王台 □湖北 □新木 □布佐 ■全市								
	⑤事業期間	平成14年度 ~			⑥担当職員数	4人 (換算人数)		0.35人						
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	0千円		当該(開始)年度	(当初)	3,080千円 (うち人件費 3,080千円)							
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61002	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし	基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無		部門別計画への位置づけ (計画名)					
(2) 目的	施策目的・展開方向	無秩序な開発を防止し、適正な土地利用を実現するため、都市計画法をはじめとする関係法令や開発行為に関する条例等に基づき、開発行為や建築行為の適正な規制・誘導を進めます。			事業目的	市街化調整区域のうち開発許可を受けた開発区域以外の区域内において、建築物の建築等を行う場合は、立地の適正性を確保するため、法第43条に基づき建築物の建築等の許可を行う。								
(3) 事業内容	内容	法第43条は、何人も、市街化調整区域のうち開発許可を受けた開発区域以外の区域内においては、市長の許可を得なければ、第29条第1項第2号若しくは第3号に規定する建築物以外の建築物を新築し、又は第1種特定工作物を新設してはならず、また、建築物を改築し、又はその用途を変更して同項第2号若しくは第3号に規定する建築物以外の建築物としてしてはならないと規定している。このことから、立地の適正性が確保されていることが認められることの可否については、法令の基準に適合することの書類・図書の審査を行い、適合すると認められた場合は、当該許可申請者に対して許可通知書を交付する。			当該年度執行計画	・年間を通して、許可申請書を受理したときは、適正な期間内で速やかに審査を行い、基準に適合しているものについて許可書を交付する。								
		当該年度活動結果指標	許可書の交付件数	単位	件	想定値	13		実績値	7				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)				指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値				
当該年度	都市計画法43条の規定に基づき、適正な期間で許可する。				直接	許可率(許可件数/申請件数)		%	100	100				
令和2年度	都市計画法43条の規定に基づき、適正な期間で許可する。				直接	許可率(許可件数/申請件数)		%		100				
令和3年度	都市計画法43条の規定に基づき、適正な期間で許可する。				直接	許可率(許可件数/申請件数)		%		100				
(7) 事業実施上の課題と対応					代替案検討	○有 ●無								
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成30年度		平成31年度		令和2年度		令和3年度						
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	予算額(千円)	決算額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
			建築許可に係る事務		建築許可に係る事務	0				建築許可に係る事務	0	建築許可に係る事務	0	
		予算(決算)額	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0	合計	0		
		(9) 財源内訳	国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0		
(10) 人件費等	換算人数(人)	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35	0.35				
	正職員人件費	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080	3,080				
事業費(予算(決算)額+正職員人件費)		3,080		3,080		3,080		3,080		3,080				
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)		236.92千円/件		236.92千円/件		440								

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	法に基づく事務処理市として、我孫子市開発行為に関する条例及び我孫子市開発行為等運用・審査基準に基づき、法第43条に規定する建築物の建築許可をする必要がある。				●①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった  <想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因> 都市計画法第3章第1節の規定による。				○要 ●不要
	(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		<その他の内容>		■①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給が確保された □⑦その他		<市実施の具体的な内容・必要性の理由> 都市計画法第3章第1節の規定による。	
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ●不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他  <その他の内容> 対象なし						○①当初期待した以上 ●②当初期待したとおり ○③当初の期待以下  <期待した以上となった理由/期待以下であった原因>		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ●不要
	■①自然環境を生かしている □②生き物と共存している ■③手賀沼を意識している ■④環境負荷低減に貢献している □⑤その他  <その他の内容>		・緑地の確保 ・雨水を浸透させ地下水の涵養を図る ・雨水を貯留する		・雨水を浸透させ地下水の涵養を図る。		●①想定どおり ○②想定どおりでなかった  <想定どおりでなかった原因>		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況		●①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ●不要
	100	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	<目標を達成した理由/未達成となった原因> 適切に事務を執行したため。		
					100	100			
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ●②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ●不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	●①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった  <想定どおり削減できなかった原因>		
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ●②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ●不要
	3.25		●①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ○②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	<目標値以上となった理由/目標値以下であった原因>		

3. 事後評価									
●現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)									

評価コメント	本事業は、法令に基づく必要不可欠なものであるため、今後も現状どおり推進していく。				改善策及び展開方向					
--------	--	--	--	--	-----------	--	--	--	--	--

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (875), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and budget details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple criteria like necessity, participation, and efficiency, each with a '改善検討' (Improvement Consideration) column.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a table for '現状' (Current Status) and '改善策及び展開方向' (Improvement Measures and Development Direction).

Final evaluation table with columns for '評価' (Evaluation) and '改善策及び展開方向' (Improvement Measures and Development Direction).

事務事業評価表（平成31年度）

Header table with columns: 事業コード (876), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 30, 31, and 2.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価

Post-evaluation table with columns: 評価コメント, 改善案及び展開方向. Includes a comment on the completion of the project and future improvement directions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (877), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section header.

Main evaluation table with columns for evaluation items, pre-evaluation, post-evaluation, and improvement checks.

3. 事後評価 - Post-evaluation section header.

Post-evaluation table with columns for current status, expansion, contraction, and other actions.

事務事業評価表(平成31年度)

Header table with columns: 事業コード (2226), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 經常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and financial details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with a row for overall status and comments.